



札幌市立西岡中学校だより
2022年度 第8号
令和4年 10月31日

<http://www.nishioka-j.sapporo-c.ed.jp/>



青翔祭を終えて

生徒活動部 米永裕紀

「青翔祭」。西岡中学校では、一般に言う学校祭や文化祭のことを「青翔祭」と呼びます。これは2020年度の西岡中学校の先輩が、『青春を翔ける』ことができるような祭りにしよう。」という願いを込めて名付けられたそうです。

「青春」という言葉からみなさんはどのような想像ができるでしょうか。仲間と汗を流した部活動の思い出でしょうか。志望校を目指して努力した勉強の記憶でしょうか。はたまた、甘酸っぱい恋愛を思い浮かべる人もいるでしょう。「学生」と結びつく人が多いのではないかと思います。

私は「青春」と聞くと、教員の先輩が学級通信のタイトルにしていたサミュエル・ウルマンの「青春」という詩が思い浮かびます。詩の一部を引用します。

青春とは人生のある期間を言うのでなく、心のもち方を言う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな肢体ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病を退ける勇気、安易を振り捨てる冒険心を意味する。ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。

日本の実業家、松下幸之助さんもこの詩を好んでおり、座右の銘とされていたそうです。

私の尊敬する先輩は、この詩の通り、青春を忘れず、熱い情熱をもって生徒と接しており、私もこんな先生になりたいと思い、その背中を追いかけています。

今年度行われた青翔祭は、間違いなくこの「青春」を体現した学校行事だったと思います。コロナ禍において生徒一人一人が試行錯誤をし、より良いものを創り上げようとする確かな意志がありました。

私が担当した2年発表部門では、演劇を行いました。全員が台本に描かれていることを表現しようと力を合わせて練習する姿に何度も心を打たれました。また、生徒会役員もコロナ禍でたくさんの行事ができず、経験がない中の青翔祭でしたが、立派に自分の役割を果たしていました。きっと他の学年、他の部門の生徒たちにもそれぞれのドラマがあったことを考えると、ものすごい熱量をもった行事なのだと改めて感じます。

コロナ禍になってから初めて3つの学年が体育館に集まり、この熱量を共有しました。まさに「青翔祭」。学校が一つになった瞬間でした。生徒たちの満足そうな表情は今でも昨日のこのように思い出されます。

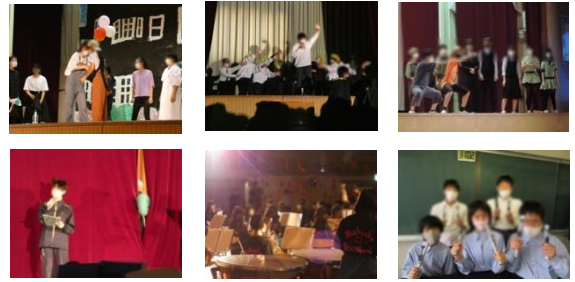
3年生はこれから受験勉強が本格化していきます。2年生は最高学年になる最後の準備を、1年生も先輩として後輩を迎えるステップアップの時期です。それぞれの学年が次のステージに向けて歩み続けています。そんな青春まっただ中の生徒たちをしっかりと支え、これからの人生も青春し続けられるよう、私たち教員も熱い志と確かな理想をもって日々生徒と向き合っていきたいと思います。今後とも地域、学校、ご家庭で連携して生徒を支えていけると幸いです。ありがとうございました。

< 2年ぶりの体育館集結!! >

9月30日(金)に行われた青翔祭は、全校生徒が体育館に会して行われました。今後も感染状況を見ながらではありますが、生徒が同じ空間の中で思いや感動を共有できる時間を増やしてまいります。

また、生徒会役員や吹奏楽部はこの日をもって、後輩達に襷を繋ぎます。勉強や習い事、部活動などで忙しい中、隙間時間を見つけて台本を覚えている生徒もいました。

生徒一人一人がそれぞれの思いをもって望んだ青翔祭は、大きな拍手に包まれて幕を閉じました。



オリンピックが来ました!

10月20日(木)に本校に、競泳男子で3大会連続メダルを獲得した松田丈志さん、ウエイトリフティング女子で5大会連続出場を果たし、2つのメダルを獲得した三宅宏実さん、それに2014年のソチオリンピックでフィギュアスケートペアに出場した高橋成美さんの3人の元オリンピック選手が来校し、オリンピックという立場から、国連の定める持続可能な開発目標「SDGs」の理念についての講義をしていただきました。

体育館での講演後、2年生を対象に高橋選手と三宅選手が講話をしてくださいました。高橋選手には緊張をほぐす方法を教えていただきました。また、三宅選手は中学時代、手芸部に所属していたという話を聞きました。トップアスリートを身近に感じることができた1日となりました。



◇ 11月の予定 ◇



- 1日(火) 開校記念日
- 2日(水) 安全衛生の日
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 校内研修会③、いじめアンケート配布
- 7日(月) 委員会(定例)、いじめアンケート回収
モジュール学習(～11日)
- 8日(火) 部活動休止日
- 9日(水) 2年「ビジネスマナー講座」
- 10日(木) 3年学力テストC、3年進路写真撮影
諸費再引落日
- 12日(土) テスト前諸活動停止(～14日)
- 14日(月) PTA「高校見学会」
- 15日(火) 2学期定期テスト(国理英数社)
学校評価アンケート配布・実施
- 16日(水) 1年「食育講話」
- 17日(木) 総合「キャリア活動日」
- 18日(金) 保健委員会、学校評価アンケート回収
- 21日(月) テスト返却日、給食週間(～25日)
- 22日(火) 2年「食育講話」、3年得点通知表配布
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 全協・議長(定例)、1・2年得点通知表配布
3年「面接講座」
- 25日(金) 学期末教育相談(～12月2日)
B時間割終了
- 28日(月) 服装強化週間(～12月2日)、諸費引落日
C時間割開始

※新型コロナウイルス感染症の影響で予定が変更になる可能性があります

道徳講演会

10月26日(水)、体育館にて道徳講演会が実施されました。公演は前後半の2部構成になっており、前半は「いのちの電話」の事務局長の杉本明さんによる、命の大切についての講話、後半は、2006年北海道札幌市で結成された希望を歌う4人組ロックバンド「ナイト de ライト」による音楽ライブが行われました。ライブでは、スクリーンに曲の歌詞が映され、生徒は「生きること」「自分らしくあること」といった歌詞に込められたメッセージを受け取りました。最後には、アンコールの掛け声が生徒から湧き、立ち上がって手拍子を送る生徒もいました。講話と音楽を通じて、命の尊さ、大切さについて学び、事後の感想には「今は深い苦しみや悩みは感じていないが、いつか自分や大切な人が悩んだ際の相談できる場所を知ることができて良かった」との記述が見られました。

いのちの電話 011-231-4343 (24時間)

